

東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事

- 立坑の掘削作業（4/24 現在：主立坑 500.4m、換気立坑 500.2m）坑内外設備の維持管理、深度 500m 水平坑道整備、冠水坑道止水壁工
- 瑞浪超深地層研究所からの排水 排水処理後放流を実施中（H27/3 月の平均排水量：841 m³/日）

2. 調査研究

（1）超深地層研究所計画

〔瑞浪超深地層研究所〕

- ・深度 200m のボーリング横坑（主立坑、換気立坑）及び深度 300m のボーリング横坑（換気立坑）における鉛直ボーリング孔（07MI08, 09・09MI17-1, 18, 19 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
- ・深度 200m、深度 300m 及び深度 400m の水平坑道（予備ステージ）における水平ボーリング孔（07MI07・09MI20・10MI26 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
- ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔（10MI23 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
- ・深度 500m 研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔（12MI32 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
- ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔（12MI33 号孔・13MI38～48 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測、13MI39～48 号孔を用いた地下水水圧・水質観測・岩盤変位計測を継続
- ・地表からのボーリング孔（MSB-1～4・05ME06 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
- ・主立坑、換気立坑の集水リングを用いた地下水水質観測を継続
- ・自然電位測定による地下水流動観測（深度 300m ステージ）を継続
- ・表層水理定数観測（研究所用地内 1 地点及び 04ME01 号孔）を継続

〔正馬様用地〕

- ・地表からのボーリング孔（AN-1・MIU-2～4 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
- ・表層地下水位観測（ボーリング孔[99MS-05・AI-7, 10 号孔]）を継続

（2）広域地下水流動研究

- ・地表からのボーリング孔（DH-2, 7, 9～13, 15 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続

（3）地質環境の長期安定性に関する研究

- ・調査技術の開発・体系化を継続
- ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
- ・年代測定技術の開発を継続

3. 瑞浪超深地層研究所環境調査

- 流量観測を継続（狭間川 4 地点）
- 水位観測を継続（研究所周辺井戸 10 地点）
- 研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
- 環境保全協定に基づく排出水等の測定を継続

4. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等

- ・東濃地震科学研究所の施設利用（研究坑道内における重力計及び応力計による観測、傾斜計による岩盤変位計測及び地震計による地震波速度観測等）を継続
- ・名古屋大学の施設利用（深度 200m ボーリング横坑（主立坑）における原子核乾板の保管）を継続

瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事の状況

(平成 27 年 4 月 24 日現在)

立坑

立坑掘削深度	主立坑	換気立坑
	500.40m	500.20m
5月1日までの予定	500.40m	500.20m

水平坑道

深度 300m 水平坑道の掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から (ボーリング横坑)
	95.70m 計測横坑①10.00m 計測横坑② 3.00m 計測横坑③ 3.00m	19.75m (露岩部 5m 含む)
5月1日までの予定	—	—

深度 500m 水平坑道の掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から
	予備ステージ 15.75m 設備横坑 17.00m 研究アクセス北坑道 上半分 161.40m 下半分 161.40m 設備横坑 10.20m ボーリング横坑 西側 15.00m 東側 15.00m	予備ステージ 15.15m 避難所 7.00m 研究アクセス南坑道 118.65m 設備横坑 10.10m 20m 計測横坑 11.00m 20m ボーリング横坑 15.00m 125m 計測横坑 15.50m
5月1日までの予定	—	—

その他

その他の作業	主立坑	換気立坑
	研究アクセス北坑道冠水坑道止水壁工及び坑内外設備の維持管理	坑内外設備の維持管理
5月1日までの予定	//	//

